第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：西村 浩輝／副会長：山瀧 正久／幹事：野村 和義

2013～2014年度クラブスローガン

『淡々とロータリーを楽しむ』
ありがとうの心で

2013～2014年度RIテーマ
ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を

〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp

本日の出席率７３．８%: 会員数４２名・出席２９名・欠席１１名・出席規定免除会員（２） ２名・ビジター１名
前々回の修正出席率１００%: 出席２８名・メークアッ１１名・出席規定免除会員（２） ２名

会長挨拶／西村 浩輝君



皆さんこんにちは。いよいよ桜の季節になりました。春雨ものどかに感じられるようになったこの頃です。花起こしの雨が降り、雨に濡れた桜も趣があるとは思いますが、今日のようなのどかな日和の良い中での花見を楽しみたいものです。

しかし、この頃はPM2．5がひどく、先ごろまで中国大陸からの黄砂で「春がすみ」と言われた春の風物詩が大気汚染となりつつあります。

世界保健機関（WHO）が2012年に世界で推計700万人超が亡くなったとの報告をしております。又、発がんリスクを5段階の危険度のうちの最高レベルに分類していると発表しています。

そういう大気汚染の中でゴルフ大会が開催されました。3月21日（金）彼岸の中日に佐世保北RCの北斗会主催でゴルフ対抗戦がありました。詳しいことは中央会から報告があると思います。

まず数で圧倒しようということで、19人対7人で中央会で多数の参加者で非常に良かったと思います。参加していただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。私も写真を撮ろうと行ってきました。ゴルフについても色々勉強させていただきました。特にバンカーでの目玉ボールの処理の方法を見せていただきました。指山康二選手、本当にありがとうございました。しかし、上位3人のパワーには驚きます。老年というより壮年パワーだと思いました。自分のできる範囲で淡々と楽しむことだと思います。それが健康法にもつながるものと思えるようになりました。ありがとうございました。

本日のビジター紹介

佐世保ロータリークラブ　　前田　文智様

Report 幹事報告／野村 和義君

1．例会変更
佐世保東南ロータリークラブ
4月2日（水）12：30→19：30～
焼肉あいかわ　観桜例会のため
佐世保西ロータリークラブ
4月22日（火）12：30→4月18日（金）19：00～
山暖簾　観桜会のため

2．来　　信
・ガバナー事務所
4月のロータリーレートのお知らせ　1ドル＝102円

3．伝達・通知
・来週の例会は佐世保市議会員 文教・厚生委員長　崎山信幸君の卓話です。
・4月最終週（4／24）の例会は地区委員 井上亮、前田眞澄君の卓話です。

committee 委員会報告

竹本慶三 国際交流委員長
4月9日（水）から4月11日（金）まで釜山蓮山RC公式訪問します。 西村会長はじめ会員14名、 奥様2名で行ってまいります。

牛島義亮 中央会会長
中央会と北斗会とのゴルフの対抗戦は今回、 佐世保北RCの条件で行いました。 上位3位グロス勝負でしたら負けていましたが、Wペリアで行われ中央会が勝利しました。

宮崎正典君
中央会結果　優勝　大久保厚司君　準優勝　福田英彦君
5月11日（ 日）に開催される第42回佐世保市内8RC親睦ゴルフ大会も宜しくお願い致します。

週報製作：会報・出席委員会／池永 隆司、長富 寿人、牟田 憲市、鶴田 明敏、古川 直記、糸瀬 新

(^_^) ニコニコボックス

西村浩輝会長・山瀧正久副会長・野村和義幹事
さくら満開の中、淡々と例会にご出席頂きありがとうございます。また、本日は佐世保ロータリークラブの前田文智君のご来訪、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。3月の例会も今日が最後です。1年の4分の3が終わります。いよいよ、沈む夕日と上がる朝日の季節です。本日は次年度会長・幹事の卓話です。メンバー一同、期待をしています。夢のある30分を宜しくお願い致します。

大久保厚司次年度会長・本田実次年度幹事
本日は3月15日（土）に開催されました会長エレクト研修セミナー及び次年度クラブ幹事セミナーの報告です。寝ないでセミナーに出席しましたが、頭の中には内容が残っていません。

長富寿人君・牟田憲市君・松尾英機君
3月21日、佐世保北ロータリークラブとの対抗戦、皆様お疲れ様でした。佐世保中央ロータリークラブのベスト3は誰でしょう。若いものは口ばっかりの世界ということが良くわかりました。これからは1年間年寄りを敬ってください。

崎山信幸君
来週の卓話は私の担当です。宜しくお願い致します。

牛島義亮中央会会長
福田先生のおかげで馬券をゲットしました。ニコニコします。

池永隆司君
やはり戦力外だった池永です。自分を外しての馬券が当たったのでニコニコします。

中央会
先日の北斗会との対抗戦では長富寿人君、牟田憲市君、松尾英機君の多大なる力により、無事2連勝することができました。次回、佐世保市内8ロータリークラブ親睦ゴルフ大会も宜しくお願い致します。

本日の合計	32,000 円
本年度の累計	740,000 円

本日の卓話

＊ 第８回クラブフ協議会 ＊
《 会長エレクト研修セミナーの報告 》

大久保厚司 会長エレクト



3月15日（土）13時より平安閣諫早サンプリエールで開催されました。次期ガバナーは 諫早北RCの宮崎清彰氏です。1981年に不知火薬品の取締役社長に就任されております。

地区運営方針は「地域に輝くロータリー」あせらず 無理せず感謝の気持ちをもち、健康に留意すること

目標として会員は純増2名以上、ロータリー財団への年次寄付は一人平均150ドル、米山奨学金は一人平均16 ,000円とされています。 因に2012－13年度2740地区はで会員数2 ,169人、ロータリー財団への寄付額は年次寄付と使途指定寄付合計228,759ドル（一人平均89,4ドル）、米山奨学金への寄付は26,421,800円（一人平均12,181円）です。

セミナーの要点は

1. 2014－15年度RI会長は台北出身のゲーリー C.K, ファン氏で「Light up Rotary / ロータリーに輝きを」というテーマです。

ファン会長はまず、中華的価値観である孔子の教えとRCは相通じる思想であり、自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国家を治めてこそ天下が平和になる。これに世界平和を含めたロータリアンは、超我の奉仕の理念によって自らを律し、奉仕において高い理想を掲げており、さらに、ロータリーファミリーを拡大していくことが必要です。

2014－15年度はロータリーの奉仕の人々とわかち合い、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めること…すなわち「ロータリーに輝きを」もたらすと考えています。 全世界で現在の3万3千クラブの120万人から3万4千のクラブから130万人を目標で換算すると各クラブ約8％増員の必要性を掲げています。

RI会長賞の要綱は会員基盤を広め、奉仕の効果を高め、ロータリーのネットワークを広めるために行動を起こしたクラブを表彰するとのことで部門別に増強、奉仕、ロータリーファミリーで各ポイント制をとって合計点の高いクラブを表彰することになっています。

2. 伊万里RCの隅田達男パストガバナーによる福島喜三次と米山梅吉について

1920（大正9）年10月20 日日本で最初のロータリークラブ東京RCが創立され，翌1921年4月1 日に世界で855 番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟承認されました。創始者ポール・ハリスの右腕としてロータリー組織づくりと海外拡大に取り組んだ初代事務総長のチェスリー・ペリーによって創立の準備に奔走した福島喜三次と米山梅吉などの先達の功のいきさつを話されました。

日本のロータリーは第2次世界大戦のあおりで1940年に国際ロータリーから脱退。戦後1949年3月に復帰加盟。日本は、現在34地区に分かれており、そのうちの 1 地区には、北マリアナ諸島、グアム、ミクロネシア、パラオという海外の地域が含まれています。日本国内のクラブ数は2 ,288、会員数88 ,806人（2013年9月末）となっています。

3．第4グループガバナー補佐の伊万里西RC曽我文雄氏より留学生拡大についてお話がありました。（ 因に第6グループガバナー補佐の佐世保北 RC 宮原明夫氏で期日・内容は未定

ですが、IMを行うとのことでした）

福島喜三次（きさじ、きそじ、英語で KISOJO）

有田ではさ行の発音がなまるために、「きさっしゃん」と呼ばれていた模様。1881年有田町の柿右衛門窯場のすくそばで生誕し（ 現在は馬渡クリニックの敷地内にあったらしく ）、向笠元 RI 会長の直筆で「福島喜三次生誕の地」と書かれた大理石の石柱が現存しています。一ツ橋大学を卒業後三井物産に入社して、1905 年に渡米し、ニューヨーク、オクラホマ、ヒューストンを経て、1912 年頃、ダラスの三井物産の現地法人 Southern Products サザン・プロダクツ社の支配人に就任。

既に同社の社長ウイリアムスかダラス・ロータリークラブの会員になっていたため、福島は1915年頃、アディショナル正会員として、ダラス・クラブに入会します。その後、ドイツのウイリアムズが第一次世界大戦の勃発によってに引き上げたので、正会員として 1920年まで、同クラブに在籍した最初の日本人ロータリアンです。なお、福島の帰国後に「島」某が彼に代わって入会したという記録か残っています。

米山梅吉（よねやま うめきち）

1868年2月江戸の和田家に生まれ、19歳で東京英和学校（青山学院の前身）に転入し、米人講師のもとで英語を学ぶ。翌年に米山家に養子となり、渡米。1881年に渡米しオハイオ州・ウェスレヤン大学やニューヨーク州・シラキュース大学などで法学を学び、8年間の在米中、アメリカ滞在中シカ万国博の日本館で説明係を務めたことから、この万国博を訪れたポール・ハリスと顔をあわせた偶然も想像できます。

日本に帰国後に勝海舟に師事し、博文館より「提督彼理（ペルリ）」を出版する。

1897年井上馨の紹介で三井銀行（住友銀行）に入社し三井銀行深川・横浜・大阪各支店長などを経て、1909年、常務取締役に就任し、1917 年 10 月に目賀田種太郎男爵を団長とする政府派遣財政経済委員の一員として渡米した際、1918年の正月をダラスの福島宅で過ごすことになります。 福島宅を訪れ人には名簿を書いてもらっていた。

1920年 1 月に帰国した福島は、アルバート・アダムス国際ロータリークラブ連合会会長から、年度内に日本にロータリークラフを設立してもらいたいという拡大特別代表の委任を受けて奔走しますが、年度末までに創立に必要なチャーター・メンバーの数を集めることかできず、期限切れとなってしまいました。翌 Estes Snedecor エスタス・スネデコル連合会新会長は福島に再度委任状を送ると共に、パシフィク郵船横浜支店長 W. L. Johnston ジョンストンをクラブ拡大の世話役に任命して協力を命じました。 福島から協力を依頼された米山梅吉は財界の面々に声をかけ、1920年9月1日に設立準備会が開かれ、同年10月20日、チャーター・メンバー24 名が集まって、銀行クラで創立総会が開催され、東京ロータリークラブが誕生しました。なお、RI から正式に認証されたのは 1921年4月1日で登録番号 855です。

1920年に日本初のロータリークラブである「東京ロータリークラブ」を設立し、初代会長に就任。内外編物（現・ナイガイ）設立に深く関わった。

1924年に三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任。1937年に財団法人緑岡小学校（現、青山学院初等部）創立し校長に就任する。1938年には、貴族院議員に勅選される。

晩年も、財団法人三井報恩会理事長、三井信託株式会社代表取締役会長、第15回赤十字国際会議日本赤十字代表委員などを歴任。1928年に紺綬褒章受章、1942年に勲四等瑞宝章受章。最終学位は、マスターオブアーツ（MA）（オハイオ州・ウェスレアン大学）である。1946年4月28日死去。享年78才。

米山梅吉の方針によってロータリーの奉仕哲学の探究に真摯な態度で取り組み、個人奉仕の原則もよく理解されていた反面、クラブ組織としての管理運営はあまり省みられなかった模様で。当初は例会も月一回であり、かつ、たびたび流会し、出席率も悪く、また規約に対する関心も薄かったと言われています。

福島は僅か二回例会に出席しただけで、1921年 3 月に大阪へ転勤 になります。それを機会に、関西財界人の間にロータリーに対する関心が高まり、英米訪問実業団の一員として渡米した星野行則がシカゴへ赴き、直接、RI事務総長チェスレー・ペリーと会談して、大阪クラブ設立の意向を伝えました。日本におけるロータリーの拡大に積極的だったチェスレーは、拡大に関する直接の指導を与えると共に、星野に大阪クラブ設立に関する 全権を委嘱しました。

帰国した星野は、福島と協力して拡大の作業を進め、1922年 11 月 1 日に、第 1回創立準備会を中之島大阪ホテルで開催します。その際集った人は 10 人でしたが、いろいろと奔走の結果、大阪クラブの創立総会が11 月 17 日 に初代会長は星野行則、副会長村田省蔵、幹事福島喜三次を含むチャーター

奉仕の人「米山梅吉」

米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏（1868－1946）は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20歳で米国へ渡り、ベルモント・アカデミー（カリフォルニア州）ウエスレヤン大学（オハイオ州）シラキュース大学（ニューヨーク州）で8年間の苦学の留学生活を送りました。

帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されるといち早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を〝社会への貢献〟とするなど、今日でいうフィランソロピー（Philanthropy*）の基盤を作りました。

晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕し

ました。また、子どもの教育のために、はる 夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました。“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身の 生涯そのものでした。“他人への思いやりと助け合い”の精神を身もって行いつつ、そのことについて多くを語らなかった陰徳の人でした。

世界の平和を願って　―なぜ留学生支援なのか―

「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」――。事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。

それから60年余の歳月が流れましたが、“民間外交として世界に平和の種子を蒔く”という米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えるとき、その使命はますます重要性を増しているのではないでしょうか。

留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。

本田実 次期幹事

次年度のガバナーエレクトは清彰さん　職業分類が薬品関係で、68歳です。

地区運営方針は、地域に輝くロータリーあせらず無理せず感謝。自分の健康に充分留意して下さいと挨拶され、十分に睡眠をとる、朝ごはんをしっかり採る、手洗いうがいを怠らない、予防接種を受ける、定期健康診断を受ける、筋肉を鍛える、最後に呼吸法で体を鍛えロータリー活動をしてくださいと話されました。

会議の内容ですが、会長と幹事別々な会場で行われ、島原RCのパストガバナー高木義明氏が幹事の役割・仕事について話されました。

会員の記録を整理をし保管すること（事務局員と一緒に行う）
例会・理事会・委員会の招集の通知を怠らない。
例会・理事会・委員会の議事録を作成し保管する。
例会の毎月の出席率を15日以内にガバナーに報告する。
クラブ役員と協議をしてクラブ活動を行う。
最後に次年度のガバナー公式訪問は８月21日（木）です。

ＳＡＡ：馬場貴博君
次回例会／４月３日１２：３０～
次回献立／季節の弁当

memo